

## 市長の地域説明会～地域コミュニティのしくみづくりなど～

### 質疑応答

- 1 日 時 平成 29 年 4 月 20 日（木） 19 時 00 分～21 時 10 分
- 2 場 所 ダイヤランド・小ヶ倉ふれあいセンター
- 3 参加者 59 人
- 4 出席者 市長、企画財政部長、企画財政部政策監（地域コミュニティ担当）、総務部政策監（行政サテライト担当）、企画財政部政策監（大型事業担当）、福祉部政策監（地域包括ケアシステム担当）

#### <（仮称）地域コミュニティ連絡協議会（以下、「協議会」という）について>

●今、同じような組織があつて協議会と同じ機能、メンバー構成になる場合はどうしたらよいか。団体それぞれのエリアが違う場合はどうするのか。

- ・今回は組織を作つてというお願いではなく、地域のことは住民の皆さんで何が一番課題なのか、どのように対応していくのか、主体的に話し合う体制となるネットワーク組織を作つてもらふことを提案している。既に主体となる団体があるところはそこを母体として進んでいってもらえればいい。エリアが違うということに関しては、それぞれのエリアで参加していただければよい。

●若い世代や子どもたちへのつなげ方、自治会加入率の向上、同じ人への役職の重複に悩んでいる。

- ・協議会でネットワークが広がっていくことで、若い世代との交流も生まれ、自治会加入率の向上につながるのではないかと思う。
- また、同じ分野で色々な活動を行われている人たちがいるので、協議会が上手く回るようになると役割分担も調整できていくのではないかと考えている。

●協議会は何を基準に支援するのか。

- ・市は、要件で小学校区または連合自治会単位で自治会をはじめ必要な団体が入っているのかを確認し、地域の協議会としてふさわしい組織であることを前提としている。まちづくり計画書を作成し、この計画に基づいた事業計画を提出してもらった地域に交付金を交付する予定にしている。

●私たちの地域では差し迫った状況ではない。

- ・各地域の状況については、これから地域コミュニティ推進室が小学校区ごとに入って説明していく中で話を伺っていきたい。既に協議会の母体ができているということであれば、それを形にして制度化していくことで、より地域の大きな力になっていくと思う。

#### <交付金について>

●いつまで交付金は続くのか。交付金が地域の中で取り合いになるのではないか。

- ・単発の事業ではなく、これから先も制度として継続していきたいと考えている。地域によって課題、解決の仕方は違ってくると思うので、課題や対応について地域の中でよく話し合つていただき、そこに協議会の予算を振り分けていく。

●窓口の人の負担が大きくなるのではないか。

- ・地域で役割分担を行うことにより、負担軽減につながるのではないかと考える。交付金の使途はできるだけ制限しないようにしたいので、事務局人件費に充てることも可能にしていきたい。

●交付金はどのような配分になるのか。

- ・まちづくり計画書を作成し、それに基づき事業計画や必要な予算が出てくると思うが、そこに必要な資金を交付金として支援していく。交付金については、例えば、住民一人あたり 500 円、5 千人の地域では 250 万円といった額を想定している。

<行政サテライト機能再編成について>

●西部に総合事務所がないのはなぜか。本庁と総合事務所の違いが分からない。

- ・西部地区は、本庁に比較的近いという理由から、中央総合事務所の管轄としている。本庁と総合事務所の違いだが、総合事務所は職員の拠点として、今まで本庁から駆けつけて支援していたが、できる限り現場に近いところで支援できるよう今回の見直しを行った。地域センターの全てに多数配置できれば良かったが、そうすると多くの職員を配置しなければいけないため、体制的にも困難であり、中間をとった形で総合事務所は 4 か所になった。本庁については全市的な計画、予算管理、企画などを行う。

●地域センターと地域包括支援センターの名称が紛らわしい。

- ・色々名称を検討した結果、これまで行政が使用していない名称として地域センターとなった。今後、市民の皆さんには、業務のすみわけについて分かりやすくお伝えしていきたい。

●地域センターは、役割としてどこまで受付をしてくれるのか。まちづくりの支援はどのくらいのエリアまで対応できるのか。

- ・受付、手続き、相談はどこの地域センターに行っても可能。市としては、総合事務所あるいは本庁とつないでいくことから、できれば最寄りの管轄の地域センターに相談してほしい。各地域センターが管轄するエリアについては、支所の設置条例において定められている。

●中央地域センターは範囲が広く、人口も多い。対応はきちんとできるのか。

- ・市内約 43 万人のうち、7 割の約 30 万人を中央地域センターで対応していく。地域センターは市役所本館 1 階を改修し、そこで手続きを一括して行うようにする。職員は 80 人程度配置する予定で、十分対応は可能だと考えている。

●地域センターの駐車場について、地域によって不均衡がある。本庁は駐車場がなく、停めるのにも時間やお金がかかる。

- ・現在、市役所には一日あたり約 4 千人が来庁されている。現状は市営駐車場またはコインパーキングで停めてもらっているが、現時点ですぐに負担を軽減させていただくのは難しい。長期的に言うと、市庁舎を建設する中で 150 台程度は駐車場を設ける予定。今から設計していく中で手続きに要する時間がどれくらいかかるかというのを検討させてもらい、どの程度無料でお使いいただくか、他の地域センターとのバランスも考えながら検討する。

●地域センターや地域コミュニティの仕組みづくりなど、地域住民の方に伝わらなければ活用もされない。地域ごとに情報を共有できる仕組みづくりが必要なのではないか。地域センターの理解を深めるために、地域と意見交換をする機会は考えているのか。

・どのように進めていくのか、型にはめたものはないが、コミュニティの部分と共通するものがあるので、その中で住民の方と意見交換を行いながら作り上げていきたい。

#### <その他>

●ダイヤモンドアパート自治会だが、老人と子供が触れ合える場を作りたいと思っている。使っていない荒地があるので貸していただくことは可能か。

・いい提案をいただいたので、是非、現場を見て相談を受けたいと思う。